



題字：川畑 馨希

〒896-1201 薩摩川内市上観町 中観 191-1 上観中学校生徒会
清書(表)：家吉 真史 中尾 蓮夢
(裏)：内山 翔斗 中尾 翔斗
リーダー：家吉 真史

島立ちまでにして 10のこと

3月は卒業シーズン。もう少しで3年生は島立ち。そこで3年生には「島立ちまでしておいたほうがいい10のこと」、1・2年生には3年生との思い出エピソードについてアンケート調査を実施した。

3年生が選ぶ

- 一 勉学に励む**
勉強はもちろん大切。少しづつ積み重ねていくこと！
- 二 短期集中**
長い時間だらだらと勉強せず、時間を決めて取り組もう！
- 三 生活リズムを整える**
規則正しい生活を送り、毎日元気に過ごせるようにしよう！
- 四 体力をつける**
健康第一！高校では運動量も増えるのでしっかりと体力をつけよう！
- 五 自分自身で**
島立ち後は1人で生活する人も多いはず。家事などは自分でこなせるようにしよう！
- 六 整理整頓**
整った環境だと勉強もはかどる。いつもキレイにしておこう！
- 七 早めの行動**
高校では忙しい生活が待っている。先を見通して行動できるように！
- 八 地域のよさを再確認**
育ってもらった地域での思い出を振り返り、島立ち後の支えにしよう！
- 九 親睦を深める**
家族や友達、地域の方々とたくさんさんの思い出を作ろう！
- 十 感謝の気持ちを伝える**
家族や友達、地域の方の支えがあっただけの自分がある。その思いを言葉にして伝えよう！

Q 3年間の思い出ベスト3

N.1 修学旅行

3泊4日で5月に行った修学旅行。熊本・福岡・長崎へ行き改めて観鳥のよさを感じた。

N.2 部活動の大会

約2年間、先輩や後輩、仲間と頑張ってきた部活動。様々な大会で結果を残したり、楽しんだりできた。

N.3 運動会・上中祭

両の中でも力強く、競技や演舞に励んだり、地域の方々と交流を深めたりできた今年の運動会。
地域の方々や保護者、先生方、上中生にも大好評だった、劇「スマイル」。

(次点) 持久走大会・海風の作成
・春の祭典 金賞受賞
・仲間と過ごしたかけがえのない日々

Q 入試前にはおぼされた一言は？

大丈夫。いつでも味方だよ。

人と自分を比べないで後悔しないようにベストを尽くさない。

(中尾 岩下)

行け。

Fight!

頑張れ。

先輩にアンケート

Q 3年生との思い出のエピソードは？

1,2年生の

声

生徒会の活動や海風作成を手伝ってくれたこと。

部活動での姿はかっこよかった！
運動会などの行事でリードしてくれたこと。

他にもたくさんあった。改めて3年生の存在の大きさを感じた。ありがとう。3年生。

Q 1,2年生は人生の岐路である「入試」ってどんなイメージを抱いている？

緊張する。 大変そう... 難しい。 勉強の必要。 夢への第一歩? などなど...

そんなイメージを抱いている1,2年生に... 3年生からアドバイス!

毎日決まった時間に勉強する癖をつけておくといい!

自信を持ちコツコツと努力を続けること!

挨拶や言葉づかい、礼儀作法などの基本的な態度を身につける!

日頃から勉学に励むこと!

深・新・進

小学生との交流が深まりました。2年生

自分たちの進歩が、新入生に教えた1年生

自分たちの進歩が、新入生に教えた1年生

後輩への思い

2月24日に中津小学校5・6年生と上飯中学校1年生による充実期交流学習、『ようこそ後輩』が行われた。中学一年生が、中学校の学習や生活活動などに『小学生に説明をした。』阻まれた時間ではあったが、みんなの協力のおかげで、発表練習

習に励むことができた。そのかいあって発表も成功させることができた。発表を通して昨年の自分達の成長を感じ、その後の成長を感じることが出来た。小学6年生4人が入学して行くのを深々しみに全生徒、全職員でまじり、ときたと思えます。(岩崎、西)



「先輩質問です。」

自分の夢に向かおう

2月10日、2年生は今年での出来事と、自分の将来を考えて作った『自分年表』をもとに自分デザイン発表会

を行った。少ない時間の中で作成が大変だったが、当日は、自分年表やプレゼン資料、アドリブをうまく使い、4年生や保護者の前で、自分の思いがしっかりと伝わるように、発表することができた。感想) ○改めて自分を見つめ直すことができた。この夢を実現できるように、これから生活を直道していきたいと思っただけで、発表の最後に自分が大切にしたい一文字を、それぞれ発表した。この一文字を意識し、振り返り、これからを過ごしていきたい。(杉本)



小学生と「ハイキズ」

祝金賞受賞!

1月20日、21日に伊集院文化会館・日置市中央公民館ホールで、第51回春の祭典が行われた。本校はテーク審査の部で出場となり、このまでの練習では、パート練習や、全校での合奏でポイントをしぼり、取り組んできた。



緊張感の練習

審査の結果は、見事金賞!!審査員の方の誦評には、『石パートが自分の役割を意識した。演奏生で持った。』という、うまい言葉も添えられていた。(内山 翔斗)

緊張して何回もミスをしてしまったが、最後には、みんなの心が一つになり、最高の演奏ができた。感想) 牙齦も超えたと思、毎日岩崎先生と頑張ってきた、今回の曲



みんなの心を一つに

お知らせ

1月8日から大河ドラマ『西郷どん』が始まったことを受け、海風の来月号から連載記事として取り上げることにした。『西郷どん』の出演者やテーマ曲に関する内容や西郷さんの歴史などを記事にしていく予定である。ぜひ、お楽しみに!(内山、中尾)

編集後記

今回が今年度最後の海風となりました。卒業関連とふるこみ学科の記事を中心にまじり、来月号から始まる西郷どんの紹介記事がまとまっています。これまで、先輩が作り上げてきた伝統を新入生とともに、受け継いでいきたいと思います。来年度も、よろしくお願ひします。(杉本 琴奈)